



県議会 とちぎ

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20 TEL 028-623-3772 FAX 028-623-3755
E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp HP アドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/>
議案など各記事の詳細については県議会 HP をご確認ください。



日向野 義幸 議長 井出 文恵さん 永井 聖さん 中島 宏副議長
△栃木県議会ナビゲーター委嘱式(6月26日)の様子

第401回通常会議(令和6年5月28日～6月14日)

一般会計補正予算、栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正など14議案を可決

可決された主な議案と概要

●は知事提出議案です。●は議員提出議案です。

●令和6年度栃木県一般会計補正予算(第2号)

那須雪崩事故に係る損害賠償に要する経費を計上するとともに、みかも自然の家に係るPFI事業費について金利変動等に伴い増額することとしました。

●栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正について

難病の患者に対する医療等に関する法律の一部改正等に伴い、条例の一部を改正することとしました。

●栃木県県税条例及び栃木県地方活力向上地域における県税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について

地方税法等の一部改正に伴い、法人事業税に係る外形標準課税の対象法人を見直すこと等のため、条例の一部を改正することとしました。

●議員派遣について

とちぎの将来についての新たな発想や率直な意見などを高校生から直に聴取するとともに、県議会の役割等について理解を深め、関心を高めてもらうための意見交換を目的とした「～とちぎの未来を考える～栃木県議会県政ミーティング」に議員を派遣することとしました。

可決された意見書と概要

●物価高騰等における継続的な支援を求める意見書

コロナ禍や物価高騰により、家計や中小企業・小規模事業者等への負担が蓄積していることを踏まえた経済対策を早急に進めること等を国に要望することとしました。

●急増する金属盗被害を防止するための法整備を求める意見書

国民の財産を守るため、急増する金属盗被害を防止するための法整備を早急に行うことを国に要望することとしました。



▲第401回通常会議(6月14日)の様子



▲議員提出議案の趣旨説明の様子

請願・陳情

所管常任委員会の審査を経て、請願・陳情7件が不採択となりました。



とちまるくんのなるほど! 県議会

地方自治法の一部改正を紹介するまる!!

今回は、大規模災害や感染症のまん延への対応など議会の役割がより重要となる中で、多様な人材が参画し住民の皆様が開かれた地方議会の実現に向けて、地方議会の役割や議員の職務等を法律上明確化することや、地方議会に係る手続のオンライン化を可能とする令和5(2023)年の地方自治法の一部改正についてご紹介します。

ポイント1

地方議会の役割や議員の職務等の明確化

法改正前

地方自治法は、地方議会の位置付けについて、「普通地方公共団体に議会を置く」とのみ規定していました。

法改正後

多様な層の住民の皆様の地方議会への参画を促進する観点から、地方議会の役割や議員の職務等を法律上明確化しました。

3つの重要な意義

- ①議会とは何かを住民の皆様にしっかり御理解いただく。
- ②議員がその重い責任を更に強く自覚する。
- ③女性や若者など多様な人材の議会への参画を図る。



施行日: 令和5年5月8日(公布の日)

ポイント2

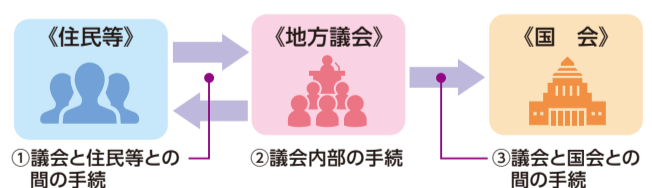
地方議会に係る手続のオンライン化

法改正前

住民の皆様と議会、議会と国会等の間など、行政機関等を一方の当事者としなない法令上の手続について、「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律」によるオンライン化の適用対象外となっていました。

法改正後

多様な住民の皆様が議会に関わる機会を広げる観点や、議会運営の合理化を図る観点から、地方議会に係る手続について、一括してオンライン化を可能としました。



栃木県議会における手続については、順次、オンライン化が可能となるよう進めるまる。

施行日: 令和6年4月1日

この地方自治法の改正を契機として、多様な人材が参画し県民の皆様が開かれた栃木県議会の実現に向け、更に取り組んで参ります。

地方自治法の一部改正の詳細は、全国都道府県議会議長会ホームページからご覧いただけます。



《第401回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容》

代表質問 (5/30)

いわさき まこと
岩崎 信
(とちぎ自民党)
[芳賀郡]




○人口減少対策

問 県民のふるさとが失われることがないよう、消滅可能性自治体^{※1}に該当するとされた市町はもとより、各市町の少子化対策や転出超過対策をしっかりと支援していくことが必要と考えますが、どのように人口減少対策に取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】とちぎ少子化対策緊急プロジェクトの実施事業とともに、移住・定住促進や女性に魅力ある雇用・産業創出に向けた事業等に取り組む、その成果を注視しながら、更なる取組についても検討を重ね、各種施策を総動員する姿勢で課題克服を図り、市町と緊密に連携しながら人口減少対策に全力で取り組んでいきます。

○健康長寿日本一とちぎを目指して

問 循環器疾患による死亡率が全国平均を上回るなどの課題を解決し、県民の健康長寿を実現するためには、食事や運動といった日常生活の改善や健診等による疾病の早期発見・早期治療などが重要であり、更なる取組の強化が必要と考えますが、どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】今年度策定する「とちぎ健康21プラン(3期計画)」では、現在の課題を踏まえ、個人の生活習慣の改善等による生活習慣病の発症・重症化予防に加え、産学官等の連携・協働による誰もが自然に健康になれる環境づくりを展開していきたく考えています。

今後とも、市町や関係団体、事業者等と連携し、健康長寿日本一とちぎの実現に向け取り組んでいきます。

このほか

- ・円安に対応した県内経済の活性化
- ・園芸生産の更なる振興

一般質問 (5/30)

つちや あきこ
土屋 晃子
(民主市民)
[那須塩原市・那須町]




○特別支援教育の充実

問 特別支援教育の在り方に関する検討会^{※2}の報告書を踏まえ、取組を進める際には、当事者に明確なビジョンを示し、共有しながら進めることが重要です。

また、那須と栃木の特別支援学校の寄宿舎については、具体的な代替案がない中での閉舎は絶対にあってはならず、当事者の意見を十分に聴きながら、特別支援教育の更なる充実に取り組む必要がありますが、どのように取り組んでいくのか伺います。

答 【教育長】全ての特別支援学校の保護者を対象にアンケート調査を実施するとともに、寄宿舎利用生の保護者との個別面談など、幅広く意見を伺う機会を設けながら、具体的な施策の検討を進めていきます。

○「文化と知」の創造拠点整備^{※3}構想

問 「文化と知」の創造拠点については、未永く県民に愛され、利用される場にしていくことが重要であり、整備構想に県民の意見を取り入れるための取組を強化する必要があります。

また、県立図書館及び県立美術館の近年の利用者数は全国でも最下位に近い状況にあり、他県の先進事例等も参考に、原因を分析し、反映していくことも重要と考えますが、整備構想の策定にどのように取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】利用者層の拡大に向け、誰もが利用しやすい環境整備など、他県の事例も参考に、検討を進めていきます。

また、県内3か所で開催するワークショップや県立図書館等の利用者などを対象としたアンケート調査等により、幅広くご意見を伺い、策定を進めていきます。

このほか

- ・県民の健康づくりの推進
- ・障害者が安心して暮らせるとちぎの実現に向けて

一般質問 (5/30)

しおだ ひとし
塩田 ひとし
(県民)
[足利市]




○均衡ある県土の発展

問 人口の宇都宮一極集中が加速していくことを見込まれる中、宇都宮市に各種施設が集中し、積極的な整備等が進んでおり、今後更に地域格差が広がっていくことを懸念しています。

本県の均衡ある県土の発展に向けた取組について、県の方針を伺います。

答 【知事】県と市町が互いに知恵を出し合い、人口減少をはじめとする地域課題の解決等に向けた意見交換を行うほか、地域の実情を踏まえながら、県として取り組むべき施策を展開していきます。

また、県有施設の整備については、県議会や県民の皆様からのご意見を踏まえ、市町とも協議等を行いながら、議論を深めていきます。

○一人暮らしの高齢者への対応

問 一人暮らしの高齢者が増加していくことを見込まれる中、民生委員のなり手不足等が深刻化しているほか、地域の関係性も希薄化しており、高齢者の不安が増していくことが懸念されます。

一人暮らしの高齢者が安心して地域で暮らすための取組について伺います。

答 【保健福祉部長】地域包括支援センターにおける相談支援業務や、高齢者の見守り活動等の支え合い体制づくりの取組などを支援するため、民生委員・児童委員等の確保・育成や「とちまる見守りネット」^{※4}の普及・拡充に取り組むほか、一人暮らしの高齢者を含む地域住民が抱える支援ニーズに対応するため、重層的支援体制整備事業を推進し、高齢者が安心して暮らし続けられる地域社会の実現に取り組んでいきます。

このほか

- ・障害者への虐待の防止
- ・県立学校の教員の確保・育成

一般質問 (6/3)

こすげ てつお
小菅 哲男
(とちぎ自民党)
[さくら市・塩谷郡]




○少子化対策の推進

問 県では、各ライフステージに応じた切れ目ない支援を積極的に行うための各種施策を盛り込んだ「とちぎ少子化対策緊急プロジェクト」に取り組んでいます。

今後どのように少子化問題に関する幅広い施策を総合的に実施し、少子化対策の更なる推進を図るのか伺います。

答 【知事】少子化問題に関する幅広い施策を総合的に推進する体制を充実させるため、4月に私を本部長とする「栃木県子ども未来推進本部」を設置しました。

今後、プロジェクトの進捗管理をはじめ、課題の把握・分析や施策の検討など、少子化問題に対し活発な議論を行い、更なる施策の充実・強化を推し進め、少子化トレンドの反転を図ります。

○特定家畜伝染病対策

問 特定家畜伝染病が全国的に発生しており、また、海外では、アフリカ豚熱が日本と台湾を除くアジア全域に拡大しています。

畜産経営に甚大な影響を及ぼし得るものであるため、今後どのように対策に取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】県の家畜防疫員を中心とした豚熱対策タスクフォースを新たに設置し、ウイルスの侵入経路の詳細な分析を行うなど、対策の強化に取り組めます。

また、アフリカ豚熱は、水際対策の強化を国に要望するほか、県内養豚関係者に発生国への渡航自粛を求めます。

さらに、1つの農場を複数区域に分けて管理する分割管理方式の導入を進めるなど、特定家畜伝染病から本県の畜産農家を守り、県民への畜産物の安定供給に取り組めます。

このほか

- ・農業法人経営の発展
- ・高校生の就職支援

一般質問 (6/3)

おおたに やよい
大谷 弥生
(夢と希望)
[足利市]




○特別支援教育における教育と福祉等との連携

問 特別支援教育の在り方に関する検討会の報告書では、児童生徒等の支援情報の共有に課題があるとされていますが、私は、学校が福祉事業所と適切に連携できることが重要と考えます。

県は、報告書をどう捉え、今後、どのように取り組んでいく考えなのか伺います。

答 【教育長】報告書では、教育と福祉等のつながりを深めることの重要性が指摘されました。

これまで、学校と福祉事業所との間での相互理解の促進に努めてきました。

今後の更なる連携強化のため、保護者を適切な福祉サービスにつなぐ仕組み等も含め、特別支援教育全体の充実に向けた施策の検討を進めていきます。

○栃木県人材育成基本方針

問 国の「人材育成・確保基本方針策定指針」を踏まえ、「栃木県人材育成基本方針」を早期に改定し、職員の人材育成・確保、職場環境の整備等に向けて、関係部局間で連携を図りながら、強力に取組を進めていく必要があると考えますが、今後どのように整理していく考えか伺います。

答 【経営管理部長】働き方改革の推進や「栃木県庁デジタル人材育成方針」の策定など、国の指針に先行して対応しており、また、試験制度改革や県職員の仕事の魅力発信に取り組んでいます。

一方、必要な人材の定量的な目標設定や技術職員の安定的な確保などに関しては、県の方針を見直す必要があると考えており、今後、その改定に向けた検討を進めていきます。

このほか

- ・若者の意見を取り入れた県民と協働のまちづくり
- ・若者の社会参加を通じたシビックプライドの醸成
- ・基金の一括運用

一般質問 (6/3)

かねこ むさし
金子 武蔵
(とちぎ自民党)
[宇都宮市・上三川町]




○戦争の悲惨さと平和の尊さの確実な次世代への継承

～栃木県遺族連合会の想いととも～

問 来年は、戦後80年という節目の年であり、戦争の悲惨さや先人たちの犠牲の礎の上に成り立っている今日の平和の尊さを次世代に確実に継承すべく、多くの県内児童生徒などの合同慰霊祭等への参列・参画を促すなどの取組が必要だと考えますが、所見を伺います。

答 【知事】栃木県遺族連合会が取り組まれる「平和の語り部」事業に敬意を表するとともに、県としては全国戦没者追悼式への参加の働きかけなどを行っています。

また、学校における戦争体験者による講演会なども通じて、次世代への戦争の記憶や平和の尊さの継承に努めます。

○宇宙産業への支援強化と地方創生

～宇宙と地域をつないでとちぎを元気に！～

問 世界の宇宙関連ビジネスは拡大しており、本県は、我が国でも有数の航空宇宙産業の集積があると同時に、高度なものづくり県でもあることから、産学官連携での共同事業や更なる宇宙関連企業等の創出、誘致、支援などを積極的に推進すべきと考えますが、これからの取組を伺います。

答 【産業労働観光部長】昨年度からセミナーや研究会により機運の醸成に努めており、今後は戦略3産業^{※5}を対象とする技術開発助成制度の宇宙分野による活用促進を図ります。

また、産学官連携による技術力強化にも取り組み、国の政策や民間の動向にも注視し、宇宙産業の振興に努めます。

このほか

- ・教育基本法の理念に沿った歴史教科書の採択
- ・迫り来る食料危機に備えた「食料安全保障の確保」

用語解説

※1 消滅可能性自治体: 20～39歳の若年女性人口が2020年から2050年までの30年間で50%以上減少する自治体。民間有識者から成る人口戦略会議が、令和6(2024)年5月に公表
 ※2 特別支援教育の在り方に関する検討会: 障害のある幼児児童生徒の自立と社会参加に向け、特別支援教育の在り方について検討を行い、今後の施策の方向性に資することを目的とし、令和5(2023)年8月から令和6(2024)年3月末まで設置されていた検討会

※3 「文化と知」の創造拠点整備: 県立美術館、県立図書館及び県立文書館の再整備
 ※4 とちまる見守りネット: 地域で社会的援護を必要とする全ての人を「まるごと」見守る体制により、孤立死などの重大な事案を未然に防ぐ取組
 ※5 戦略3産業: 本県において、優れた技術や産業集積の強みがある自動車産業、航空宇宙産業及び医療福祉機器産業

《質疑・質問日 令和6年5月30日、6月3日、4日》

※スマートフォン等で二次元コードを読み取ると、質問の映像をご覧いただけます。

一般質問 (6/3)

ほし まさと
星 雅人
(とちぎ自民党)
[大田原市]



○埋蔵文化財の調査研究と活用

問 県が「いにしえのとちぎ発見どき土器わく湧くプロジェクト」※6として発掘調査をしている、大田原市にある国指定史跡の侍塚古墳について、どのような成果が得られたのか、また、その成果を今後どう生かしていくのか伺います。

答 【生活文化スポーツ部長】侍塚古墳の発掘調査は、県内外の期待と関心が大変高く、調査により古墳の全体像が徐々に明らかとなっています。

現地説明会の開催や発掘現場の見学受入れ、発掘体験会の実施など、調査と連動した成果の活用にも取り組んでおり、市町等と連携・協力しながら、県内の埋蔵文化財の価値や魅力を積極的に発信し、地域の活性化や県民の郷土愛の醸成につなげていきます。

○水道事業における耐震化

問 地震時の断水及び断水からの早期復旧は、水道施設の耐震性能が大きき左右します。

県は、水道管の耐震適合率の向上に向けて、水道事業者との連携の強化、支援にどのように取り組んでいくのか伺います。

答 【県土整備部長】予算確保や専門職員の不足等の課題がある中、インフラメンテナンス等の知見を有する県土整備部に上下水道行政を一元化し、耐震適合率の低い市町等に対し技術的支援を行うなど、水道基盤の強化を一層推進していきます。

市町等の課題や意見を丁寧に伺いながら、課題解決に向け取り組むとともに、国に対して補助制度の改善・拡充や財源の確保について働きかけていきます。

このほか

- ・重度身体障害者が地域で暮らしやすいとちぎに向けて
- ・通学路における交通安全の確保

一般質問 (6/4)

はやかわ けいこ
早川 桂子
(とちぎ自民党)
[佐野市]



○佐野市西部における構想路線

問 佐野市から近年要望が出ている市西部を縦断する構想路線の整備によって、地域の交通利便性が向上し、本県の道路ネットワークの強じん化や地域経済の活性化も期待でき、持続可能なまちづくりに寄与すると考えます。

県は、この構想路線についてどのように考えているのか伺います。

答 【県土整備部長】南北方向の幹線軸強化によって、高速道路アクセス向上や環状道路の機能が強化され、国土強じん化や産業振興に資すると認識しています。

市や関係者の協力を得ながら、事業中の箇所の整備を進め、構想路線については市の意見を伺いながら、当該地域の道路網の在り方を検討していきます。

○地域と調和した再生可能エネルギーの導入

問 再生可能エネルギーの導入は、本県の気候や資源などの環境条件や地域に暮らす人々の生活とも調和する形で取り組むことも必要で、導入促進と環境配慮とのバランスが重要と考えますが、どのように再生可能エネルギーの導入を促進していくのか伺います。

答 【環境森林部長】冬期日照時間が長い本県の特徴を踏まえ、住宅等への発電設備の設置補助や県有施設への率先した設置など、自家消費型の太陽光発電設備導入を推進しています。

また、市町が地域住民との合意を図り、事業者による発電事業を促進する区域を設定できる制度ができたことから、円滑な設定に向けて、市町の取組を支援していきます。

このほか

- ・障害者の就労を支援する事業所の工賃の向上
- ・一級河川小曾戸川における治水対策

一般質問 (6/4)

おおくぼ ひでのり
大久保 ゆみ
(維新の会)
[宇都宮市・上三川町]



○救急医療の充実

問 県保健医療計画(8期計画)では、重傷者の平均搬送時間の短縮や受入れ困難件数の割合の引下げなどを目標に盛り込みましたが、医師の働き方改革による救急医療提供体制への影響も懸念されるなど、課題が山積しています。

本県の救急医療の充実に向けてどのように取り組んでいくのか伺います。

答 【知事】救急医療提供体制の課題解決に向け新設した検討委員会の初会合を7月にも開催するべく調整中です。

この委員会での議論を踏まえ、限られた医療資源の効率的かつ効果的な活用に向け、関係医療機関や市町等との連携を強化しながら、県民がその症状に応じた適切な救急医療を受けることができる体制の充実・確保に努めます。

○児童虐待等の早期発見と迅速な対応に向けて

問 子どもたちを守るためには、県と市町等との連携が重要であり、関係機関が迅速に情報共有し、支援体制を強化するなど、児童虐待等の見落としを徹底して防ぐ必要があると考えます。

児童虐待等の早期発見と迅速な対応に向けて、市町等との更なる連携強化にどのように取り組んでいくのか伺います。

答 【保健福祉部長】全市町へのこども家庭センター※7の設置を促進し、各児童相談所に市町支援を担当する職員を配置するなど、連携強化を図ります。

また、宇都宮市が児童相談所を新設するに当たり、改めて市町や警察等の関係機関と連携しながら、児童虐待の早期発見及び迅速な対応に努めます。

このほか

- ・農業を継承する就農者への支援
- ・基金の効率的な運用

一般質問 (6/4)

おおき ひでのり
大木 英憲
(とちぎ自民党)
[小山市・野木町]



○本県の危機管理 ～県民の生命を守る避難施設の確保～

問 国では、弾道ミサイル攻撃に備え、緊急一時避難施設※8の指定を推進していますが、県内の指定地下施設は宇都宮市に集中しており、有事の際の対応について強く危惧しています。

避難施設の確保にどのように取り組む考えか伺います。

答 【危機管理防災局長】県では、県・市町の公共施設を中心に緊急一時避難施設を指定してきましたが、昨年度、対象施設の点検を行い、新たに164か所を指定した結果、現時点で782か所、うち地下施設は26か所となりました。

引き続き、公共施設の指定を進め、民間施設についても協力を得られるよう、緊急一時避難施設の確保に取り組みます。

○都市計画道路3・3・3号 小山栃木都賀線の整備

問 小山栃木都賀線は、まちづくりの根幹を担う重要路線であり、特に、小山市立木地区から栃木市樋ノ口町地区の区間の整備は、両市の中心部を結ぶ県道栃木小山線のバイパス機能を担う区間であることから、渋滞緩和や緊急輸送道路としての機能強化、高速道路へのアクセス強化など大きな効果が期待されます。

整備状況と今後の見通しを伺います。
答 【県土整備部長】本区間のうち、小山市側の卒島工区、卒島Ⅱ工区については、用地取得がほぼ完了し、令和8年度の開通に向け改良工事などを進めています。

栃木市側の今泉町工区を含め、小山市、栃木市の協力を得ながら事業推進に努めます。

このほか

- ・次期プラン策定に向けて
- ・本県における教育環境の充実～小学校高学年における教科担任制～

一般質問 (6/4)

あべ としかず
阿部 寿一
(とちぎ自民党)
[那須塩原市・那須町]



○介護人材の確保・定着

問 「2025年問題」※9が目前に迫っている一方、介護職員の不足が見込まれており、介護職員の処遇改善などにつながる施策を展開し、確保・定着に確実につなげてほしいと考えます。

目前に迫った2025年を見据え、介護職員の確保・定着にどのように取り組んでいく考えか伺います。

答 【知事】少子高齢化が進行する中で、地域の高齢者を支える介護人材の確保に向けた取組を加速するとともに、介護人材が長く現場で活躍できる職場づくりなどが重要と考えます。

高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、関係機関と連携しながら、介護人材の確保・定着に取り組めます。

○保育士の確保・定着

問 不適切保育などの背景には、保育士不足による現場への過重な負担や多忙感があるとも指摘されています。

全ての子育て家庭が必要な保育サービスを安心して受けられる体制づくりが必要と考えますが、保育士の確保・定着にどのように取り組む考えか伺います。

答 【保健福祉部長】県では、保育士の処遇改善や潜在保育士の掘り起こしなどに取り組んできたほか、関係団体等で構成する連携会議を立ち上げ、人材の確保・定着のための取組等について検討を行ってきたところであり、7月には新たな就職フェアを開催する予定です。

引き続き、保育士の処遇改善や働きやすい職場環境づくりを推進しながら、オールとちぎで保育士等の確保・定着に取り組めます。

このほか

- ・特例校への支援
- ・金属盗被害の防止

いま
栃木県議会の「NOW」は
こちらでチェック!!



栃木県議会【公式】X(旧Twitter)



県議会の日程や質疑・質問の中継案内など県議会の情報をタイムリーにお届けします。

とちまるくんも活躍中!フォローして議会の最新情報をチェック!!

#栃木県議会



県議会中継



本会議(質疑・質問)や予算特別委員会(総括質疑)は、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、議会インターネット中継サイトで生中継しています。(映像は手話通訳付き)



※6 いにしえのとちぎ発見どき土器わく湧くプロジェクト:重要な遺跡の調査研究とその活用を推進する事業。令和3(2021)年度から、国指定史跡である大田原市湯津上地区の侍塚古墳の調査を実施

※7 こども家庭センター:全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関

※8 緊急一時避難施設:ミサイル攻撃による爆風等から直接の被害を軽減するための一時的な避難に活用するコンクリート造等の堅ろうな建築物や地下施設

※9 2025年問題:2025年に団塊の世代が75歳以上になり、国民の5人に1人が後期高齢者となることで、労働人口の減少、社会保障費の増大などを社会にもたらす問題

常任委員会の主な活動 6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に関する議案・請願等の審査や事務の調査等を行っています。

第401回通常会議において所管常任委員会に付託された議案(令和6年度一般会計補正予算(第2号)関係議案等)について、6月6日に審査及び採決が行われました。また、6月から8月にかけて県内調査を行いました。

●県政経営委員会

付託議案: 栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正について等 4件
報告事項: 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)への出展について等 2件

6月20日には、消防防災航空隊や「文化と知」の創造拠点整備構想策定の取組について調査するため、関係者との意見交換や現地視察を実施しました。



▲県立美術館の説明を受ける委員

●生活保健福祉委員会

報告事項: 「第2次栃木県再犯防止推進計画」の策定について

6月28日には、嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区や地域子育て支援センター「ゆめふうせん」(認定こども園さくら内)の取組について調査するため、関係者との意見交換や現地視察を実施しました。



▲嘉右衛門町伝建地区の説明を受ける委員

●農林環境委員会

付託議案: 市町村が負担する金額について等 2件
報告事項: 2050年カーボンニュートラル実現に向けた新たな県民運動の展開について(素案)等 12件

7月4日には、栃木県農業大学校いちご学科や環境・エネルギー性能の高い矢板市文化スポーツ複合施設の取組について調査するため、関係者との意見交換や現地視察を実施しました。



▲ZEB Readyの認証を取得した施設の説明を受ける委員

●経済企業委員会

報告事項: 知事訪米の結果概要について、令和5(2023)年度栃木県企業局決算の概要について

7月16日には、風見発電所の全面改修事業や株式会社資生堂那須工場の取組について調査するため、塩谷町及び大田原市において、関係者との意見交換や現地視察を実施しました。



▲風見発電所の説明を受ける委員

●県土整備委員会

付託議案: 市町村が負担する金額について等 3件
報告事項: 「とちぎの道開通宣言2024」、「とちぎの河川・砂防施設完了宣言2024」について等 2件

6月から8月にかけて、県内市町村からの道路や河川の整備要望箇所の状況を把握するため、各市町との意見交換や現地視察を実施しました。



▲市町と意見交換を行う委員

●文教警察委員会

付託議案: 損害賠償の額の決定及び和解について等 3件
報告事項: 栃木県警察山岳警備隊の運用状況について

7月19日には、栃木JIMINIE倶楽部自然の家みかもや県運転免許センターの取組について調査するため、栃木市及び鹿沼市において、関係者との意見交換や現地視察を実施しました。



▲栃木JIMINIE倶楽部自然の家みかも説明を受ける委員

次期プラン検討会

県政の基本指針である「とちぎ未来創造プラン」等に続く次期プランについて調査・検討するため、委員13名で組織する次期プラン検討会を3月19日に設置しました。

次期プランでは、県民が活力と希望に満ちた、未来に誇れる新しいとちぎをつくる施策を戦略的に展開していくことが重要であることから、県議会として必要な提言を行うこととしています。今後は、この検討会を随時開催しながら、今冬に次期プラン(1次素案)に対する提言を取りまとめる予定です。



▲次期プラン検討会(5月28日)の様子

県議会トピックス

○関東甲信越1都9県議会議長会

5月13日と14日に、関東甲信越1都9県議会議長会が新潟県新潟市において開催され、日向野義幸議長と中島宏副議長が出席しました。

各都県が提出した少子化対策等に関する議題を採択したほか、現地視察を実施しました。



▲本県が提出した議題を説明する日向野義幸議長

○栃木県議会ナビゲーター委嘱式

県議会に関する情報発信をこれまで以上に積極的・効果的に行うため、今般、「栃木県議会ナビゲーター」を置くこととし、広報テレビ番組「県議会ハイライト」のMCでもある井出文恵さんと永井壘さんを委嘱しました。

委嘱式の後、日向野義幸議長及び中島宏副議長との意見交換を行いました。



▲意見交換会(6月26日)の様子



▲委嘱式等の模様はこちら

○～とちぎの未来を考える～栃木県議会 県政ミーティング@さくら清修高校

とちぎの未来を担う子どもたちに県議会に対する関心を高め、理解を深めてもらう主権者教育の一環となるよう、県政ミーティングを県立さくら清修高校において実施しました。当日の詳細は、今後お伝えします。



▲当日(7月9日)の様子

U-18 高校生世代のギモン? もっとなるほど! 県議会


あなたがもっと知りたい県議会や議員のことなどについて、議長や副議長がお答えするコーナーです。

Q スカートは膝上禁止や、髪型はツーブロック禁止など、高校の規則が厳しい理由について教えてください。(17歳・佐野市)

A 学校は、集団生活の場であることなどから、一定の決まりが必要だと思います。ただし、時代の進展などによって、校則を不合理に感じることもあると思います。校則の見直しについて、生徒の皆さんで話し合う機会を設けている例もありますので、是非、他の生徒の皆さんや先生とも話し合ってみてください。

高校生世代※からの質問を募集します!

※栃木県にお住まい又は通学している概ね16歳から18歳までの方
応募方法など詳細は下の二次元コードからご確認ください。
たくさんの質問をお待ちしております!



県議会からのお知らせ

県議会議員のことをもっと知りたいあなたへ



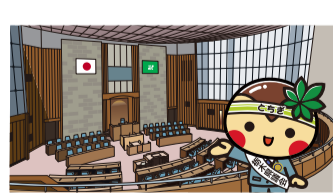
県議会議員を紹介する電子誌面を更新しました!

とちぎの未来のために日々活動している県議会議員について、もっと知ってみませんか?

電子誌面はこちら▼



県議会とちまるくん誕生



県民の皆さんに県議会により親しみを持ち、身近に感じていただくために、PRキャラクターとして新たに「県議会とちまるくん」を制作しました!



次回通常会議の日程

- 9月20日(金) 本会議(開議、議案上程)
- 9月25日(水)、27日(金)、30日(月)、本会議(質疑・質問)
- 10月 3日(木) 常任委員会、次期プラン検討会
- 9日(水) 予算特別委員会(総括質疑)
- 10日(木) 常任委員会
- 16日(水) 本会議(採決、散会)

※午前10時開始予定。日程は変更となる場合があります。詳細は、県ホームページでご覧いただけます。※傍聴については、本会議は先着順、委員会は開会15分前までに受付を行い、定員を超えた場合は抽選となります。